

ながさき 市議会だより

No. 186

2024.5.1

ながさき南山手・グラバー園
春フェス
4月1日(月)～6月30日(日)

主な掲載内容 令和6年2月定例会

本会議の様様を長崎ケーブルメディアやインターネットで生中継しています。
また、インターネットでは録画中継もご覧になれます。YouTube(ユーチューブ)でも視聴できます。

長崎市議会

検索

2月定例会の概要

令和6年2月定例会を次のとおり開催しました。

2月21日	本会議（委員長報告（各特別委員会）、 常任・議会運営委員の選任、 市長の施政方針説明、 議案上程（委員会付託））
2月27～29日	本会議（市政一般質問）
3月4日	本会議（市政一般質問、 追加議案上程（委員会付託）等）
3月5～8日 11日	常任委員会
3月12日	常任委員会 本会議（追加議案上程（委員会付託））
3月15日	本会議（委員長報告、特別委員の選任等）

▶ 議決結果（詳細はP 8、9）

・市長提出議案	原案可決	53件
	人事案件同意	1件
	専決処分の承認	1件
	専決処分の報告	2件
・請願	不採択	1件
・議員提出議案	原案可決	2件

詳しくは、
ホームページで
ご覧になれます。



概要

一般質問

常任委員会の
主な審査内容

議決結果、
請願、人事等

特別委員会
からの報告

各委員会の構成等

議会の動き

総額2,310億5,000万円の令和6年度一般会計当初予算を可決

<主な新規事業>



○電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業費

- ・物価高騰による家計への負担を軽減するため、住民税非課税世帯等に対して給付金を支給（令和5年度の対象世帯を除く）

1世帯当たり10万円

18歳以下の児童がいる世帯へ1人当たり5万円

- ・納税額が低く国が行う定額減税を十分に受けれない方に対して給付金を支給（調整給付）

○がん患者アピランスケア用品購入費補助金

- ・がん治療による外見（アピランス）上の変化に伴う心理的負担等を軽減するため、アピランスケア用品購入費用の一部を助成

（対象）医療用ウィッグ、乳房補整具等購入費

（補助上限額）2万円

※令和6年4月1日以降購入のものに限る

○成年後見制度利用支援費

- ・身寄りがなく、判断能力が不十分な高齢者や障害者を保護するために、専門的な相談支援、後見人等の担い手育成や活動支援を一体的に行う中核機関を設置

○第2子以降の保育料の無償化

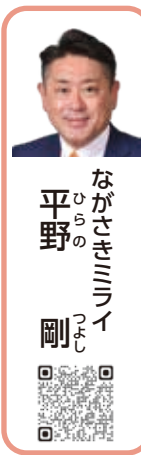
- ・令和6年4月から同一世帯で同時に入所する第2子以降の保育料を無償化。認可外保育施設を利用する保護者には利用料を給付。



○乳児期家事代行サービス事業費

- ・0歳児の子どもを育てる全ての家庭を対象に、一人の乳児につき、1歳の誕生日の前日6回（1回2時間程度）を上限に家事代行サービスを1回当たり500円で利用できるクーポンを配付





事業承継とM&Aの推進

問 後継者不在で休廃業することにより市内の会社数が減少し、経済が縮小しないよう事業承継やM&A（企業の合併や買収）が円滑に進む取組を推進する必要があると考えるが、考えを伺いたい。

答 本市では事業承継に係る経費の助成のほか国が設置する長崎県事業承継・引継ぎ支援センターや商工会、金融機関等と定期的に意見交換を行うなど、事業承継の推進を図っている。事業承継の総合窓口である事業承継・引継ぎ支援センターにおいては年間400件ほどの相談、60件ほどの成約実績があり、そのうち3分の2ほどはM&Aとなっている。

本市としては、経営者の後継者問題に対する意識改革が課題であると認識しているため関係団体との連携を一層強化し、さらなる周知・啓発に注力し事業承継の推進に努めていきたい。

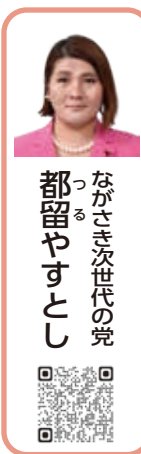


多様な学びの場の支援

問 自宅で過ごしている不登校児童生徒の学びの場や居場所づくりを進める必要があると思うが、考えを伺いたい。

答 不登校児童生徒へは、学びの支援センター「ひかり」や各学校に設置を進めている校内学びの支援センターにおける支援やフリースクール等民間施設との連携やICTの活用などによる支援を行っている。また、学習指導要領にとらわれず不登校児童生徒の実態に配慮した特別の教育課程を編成した「学びの多様な学校」の設置を検討していくこととしている。

また、自宅から一歩を踏み出すことができない不登校児童生徒に対しては、仮想空間であるメタバースを活用して授業やカウンセリングを受けられるようなシステムを構築するなど、様々なニーズに応え、多様な学びの場の選択肢を増やしたいと考えている。



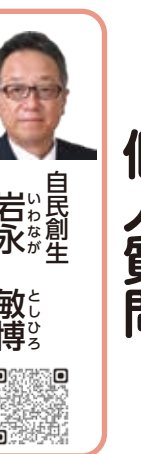
LGBTQに対応したトイレ表示

問 市庁舎の多目的トイレにもLGBTQ（性的マイノリティ）の象徴であるレインボーのピクトグラムを表示して誰もが躊躇なく使えるよう取り組む考えはないか。

答 レインボーのピクトグラム表示については、市庁舎の設計段階から市民団体等との意見交換やトイレメーカーなどが行ったアンケート調査結果をもとに検討を行ったが、表示の有無については様々な意見があったことから、最終的には表示に至っていない。しかしながら、性的少数者の心情を考慮するとともに、市内の施設においても、レインボーのピクトグラムを表示している事例があるため今後関係者の意見を聞きながら、みんなにやさしいトイレとなるよう検討を重ねていきたい。



▲レインボーのピクトグラムの一例



個人質問

長崎あじさいペイの実績と検証


問 電子商品券「長崎あじさいペイ」について、実績と検証結果、今後の活用を伺いたい。

答 実績は、発行額約44億2,000万円、参加店舗数約2,800店舗、アプリ利用実人数約5万8,000人となり、事業者の売上増や消費者の生活支援に貢献したものと考えている。


また、あじさいペイは、コールセンターや相談窓口等の設置により高齢者も含めた幅広い年代の方々に利用され、市民や事業者のデジタル化の推進にも寄与したものと考えている。

今後のアプリの活用については、今回多くの事業者と市民に登録いただいたことから活用の具体例を全庁で共有し、協議するとともに、今後の国の経済対策に係る交付金などの状況に応じ、アプリを有効に活用できる施策を検討していきたい。





ながさきミヤノイ
森きよつへい



稲佐山公園の動物ひろばの在り方

問 廃止の方向性が平成16年に示された稲佐山公園の動物ひろばは、統廃合など施設の在り方の再検討が必要であると考えますが、見解を伺いたい。

答 施設廃止に向けて、動物の引き取り手を探したり、不妊手術を行うなど、動物の数を増やさない取組を進めてきたが、皆減には至っておらず、施設を継続している状況である。

稲佐山公園は、施設の老朽化により各施設の存廃を検討する時期にきており、動物ひろばについては市内に猿や鹿の専門的な獣医師がいないなどの課題があることから廃止に向けて、再度、動物の数が増えていかない方法を検討するとともに、動物が生存している間は、健康で過ごせる環境づくりや、餌やり体験など少しでも触れ合える場を提供できるように継続的に取り組んでいく。



▲稲佐山公園 動物ひろば



公明党
久八寸志



「ながさきBLUEエコノミー」による旧高砂園の活用

問 長崎大学を中心に、県内外の大学や民間企業、行政などで構成される「ながさきBLUEエコノミー」が高島地区に水産研究所を開設したことで地元では未利用施設となっている旧高砂園を研究拠点等として活用することが期待されているが、考えを伺いたい。

答 養殖DXや海洋技術によって地域社会を活気づけることを目的に設置された「ながさきBLUEエコノミー」は、高島地区においてブリの種苗生産技術の開発・研究を始動しており、旧高砂園については、令和6年2月に長崎大学から研修・教育施設及び宿泊施設として活用したい旨の申入れがあつている。この要望は、本市の水産施策への貢献及び高島地区の活性化にもつながるため、大学と協議し検討を行った上でしっかり対応していきたい。



▲旧高砂園



自民創生
柿田正



長崎市周辺地域の振興

問 持続可能な社会となるためには、周辺地区の活性化も重要と考えますが、今後の振興についての考えを伺いたい。

答 これまで地域特性に応じ迅速に対応できるよう各地域に地域センターや総合事務所を設けるなど行政サービス維持向上に努めるとともに、地域の主体性等を尊重した地域コミュニティ連絡協議会の設立や運営への支援を行うなど地域の活性化等に取り組んできた。

また、都心部と各周辺地区を公共交通や道路、情報などのネットワークで結ぶネットワーク型コンパクトシティの実現に向けても取組を進めている。今後は都心部にぎわいを市全体に波及させるため、長崎まちづくりのグランドデザインを策定することとしており、併せて、各地域が持つ魅力ある資源の磨き上げを進めることで、人やモノの往来を活性化し、各地域が元気になるよう取り組んでいく。



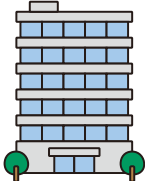

自民創生
山下巖記



市有財産の利活用

問 これまでの取組や今後の方針を伺いたい。

答 行政目的での活用がなくなった建物や土地については、資産情報の集約から売却手法の決定までの流れを示した市有財産利活用フローに基づき活用を図っており、令和元年度のフローの策定前よりも効率的な売却を図っている。また、令和2年度からは、未利用の市有財産の売却を推進するため、売却可能性調査及び売却物件の周知広報等の業務について、不動産の取引に精通する民間事業者に委託している。



令和6年度は、玉園町の旧市長公舎や馬町別館を建物付きで売却する予定であり、一方で、長崎港松が枝地区2バース化事業等の事業代替地として継続保有している土地については、貸付けによる自主財源の確保を行っている。今後もフローに基づき、未利用資産の積極的な利活用に努めていきたい。

概要

一般質問

常任委員会の主な審査内容

議決結果、請願、人事等

特別委員会からの報告

各委員会の構成等

議会の動き



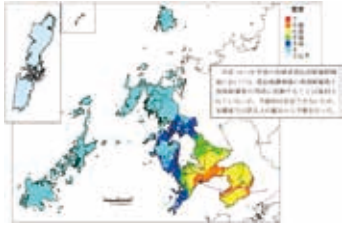
公明党
永尾 ながお
春文 はるふみ



地震による被害の想定と市民への周知

問 本市の地震による被害の想定及びその周知の状況について伺いたい。

答 平成17年度の県の調査に基づき、震度想定は、被害が最大である雲仙地溝南縁連動地震時の最大震度を、震度6強、一部地盤が軟弱な場所では震度7と想定している。また、被害予測は、建物の大破・焼失棟数の合計は2万792棟、死者数1,241人、水道の断水率82%、下水道管渠の被害率0.5%、停電率12%で、これらの被害に伴う想定避難者数は、約5万1,000人となっている。



▲出典:長崎県地震等防災アセスメント調査報告書(平成18年3月)

これらは、市ホームページ等に掲載しているが、本市においても地震による被害を受ける可能性があることを市民に理解してもらい、必要な対策を講じてもらうため、今後も被害想定やその対策に関する情報を市民へ分かりやすく提供できる方策を検討していく。



自民党
浅田 あせだ
真五 しんご



過疎地域におけるライドシェアの活用

問 一般ドライバーが自家用車を使い有償で乗客を送迎するライドシェアを、過疎地域で活用する考えはないか。

答 ライドシェアは、都市部や観光地等におけるタクシー不足を受け、令和6年4月から部分的に解禁される予定で、国が地域のタクシー需要状況を把握し、解禁すべき地域、時期及び時間帯を指定した上で、タクシー事業者が許可を得て運行できるようにする。

本市では、タクシー業界がライドシェア導入に慎重な立場であるため、その点に配慮した対応が必要と考えるが、一方で、バスやタクシー事業が成り立たない地域において市町村やNPO法人等が自家用車を用いて提供する運送サービス「自家用有償旅客運送」は、本市としても有効と考えている。

地域の移動手段の維持は喫緊の課題であるため、今後その確保に努めていきたい。




新出島クラブ
阿部のぞみ あべのぞみ



東南アジア向けの貿易拡大支援の取組

問 東南アジア向けの貿易について、本市の支援状況及びアジア圏内のジェトロ（日本貿易振興機構）や貿易に関する要所に市長自らトップセールスを行う考えはないか伺いたい。

答 本市や商工会議所等で組織する長崎活性化センターでは、長崎港における東南アジア向けの輸出コンテナ貨物取扱量の拡大に向け、助成内容を拡充するなどさらなる輸出促進に向けた支援策を講じている。また、市においては、市内事業者の海外でのビジネス展開の支援として、ジェトロ長崎や長崎県貿易協会などと連携しながら、海外取引に関する情報の収集や提供、個別の貿易相談などの支援を行っている。

トップセールスについては、本市の魅力を広く効果的にPRする絶好の機会であるため、様々な機会をとらえて、長崎の魅力を自ら発信していきたい。




市民クラブ
山口たかゆき やまぐちたかゆき



斜面移送システムの利用対象者の拡大

問 斜面市街地の登り下りの負担軽減のため市内3箇所に斜面移送システムを設置し、歩行困難者などを対象に利用者カードを貸与しているが、介護現場の負担軽減のため介護事業者も対象に追加できないか。

答 斜面移送システムは定員2名で、高齢者等の交通弱者を対象に、地域で希望する方に利用者カードを貸与している。しかし、今後さらに高齢化が進み介護の必要性が高まるにつれて、介護事業者の負担増が見込まれるため、これからは高齢者が斜面市街地で安全で快適な生活が続けられるように、まずは令和5年度内にどの程度の利用があるのかを介護事業者へ調査をした上で、その結果を踏まえて、必要に応じて早ければ令和6年4月から利用者カードを貸与できるよう進めていきたい。

とらえて、長崎の魅力を自ら発信していきたい。



▲天神町「てんじんくん」

常任委員会における審査の主な内容

概要

一般質問

常任委員会の
主な審査内容

議決結果、
請願、人事等

特別委員会
からの報告

各委員会の
構成等

議会の動き

総務委員会 令和6年度一般会計予算（総務委員会所管部分）を可決

総務費において、市職員に対し一人1台の事務用ノートパソコンの配備を行うとともに、出先機関において、Wi-Fi環境の整備を計画的に行うための庁内ネットワーク運営費が計上されました。

委員会では、これまで購入していた事務用パソコンの調達方法をリース契約に変更した理由について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、庁舎内でWi-Fiへの接続が不調と

なることがある中での予算計上は認められないなどの反対意見が出されました。

一方、事務用ノートパソコンのリース契約での調達については、委員会審査におけるより丁寧な説明を求めるとともに、デジタル化が目的ではなく、市民サービスの向上が目的であることを忘れないでほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

教育厚生委員会 「地方独立行政法人長崎市立病院機構第4期中期計画の認可について」を可決

第42号議案「地方独立行政法人長崎市立病院機構第4期中期計画の認可について」は、令和6年度から令和9年度までに、長崎みなとメディカルセンターが取り組むべき課題などの計画を認可しようとするものです。なお、審査に当たり、地方独立行政法人長崎市立病院機構の理事長など出席を要請しました。

委員会では、まず、病院機構に対し、今後経営を改善して黒字化するために、現在以上の救急患者の

受入れが必要となることから、それを達成する見込み、看護師を定着させるために働きがいがある職場とするための具体的な方策、今後の業務を担う新任看護師の育成体制について、質しました。

そのほか、市の担当部局に対して、本計画の中でスタッフの処遇改善を行う考え、本計画が達成できなかった場合の本市の対応について質すなど、内容検討の結果、異議なく原案を可決しました。

環境経済委員会 令和6年度一般会計予算（環境経済委員会所管部分）を可決

農林水産業費において、イノシシやシカ等の有害鳥獣による農業及び生活環境への被害を防ぐための有害鳥獣対策費が計上されました。

委員会では、各自治会への有害鳥獣対策の周知方法、ワイヤーメッシュ柵設置後の被害の検証と対応状況について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、有害鳥獣対策については、市民に対し

て状況に応じた支援をしてほしい、また、市内全域の被害箇所を示した地図を公表するとともに、その地図を基にした対策を計画的に進めてほしい、さらに、有害鳥獣の侵入防止のための広域防護柵を設置するに当たっては、基準を策定するとともに、今後も事業を継続・拡充してほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。

建設水道委員会 「長崎市開発許可に関する条例の一部を改正する条例」を可決

第34号議案「長崎市開発許可に関する条例の一部を改正する条例」については、安全・安心で暮らしやすいまちの実現及び都市の魅力向上による若者の定住促進に向けて、受け皿となる住宅用地を供給するため、本来、住宅等の建築ができない市街化調整区域に係る開発許可の基準等を見直そうとするものです。

委員会では、住宅団地を開発する際のインフラ整備の進め方に関する考え方や、今後の住宅ストックの増加を見据えた空き家対策、今回、基準を緩和しようとする地区計画制度の運用に係る考え方について質すなど、内容検討の結果、異議なく原案を可決しました。

特別委員会からの報告

特定の重要な事項を集中的に話し合うため、以下の3委員会が令和5年6月に設置され、2月定例会で調査結果の報告を行いました。※各特別委員会の調査報告書(まとめ)は各QRコードからご覧になれます。

子育て支援特別委員会



◎子育て支援の充実に取り組みことを要望
人口減少に係る課題解消の一助となるよう、子育てしやすい環境を整え、子育て世帯に選ばれ、子育てしたくなるまちを目指すための施策の推進に寄与するため、本市の子育て支援の現状を把握し、子育て世帯の満足度を向上させるための諸方策について調査を行いました。

主な結果として、子育て世帯からの要望が多い経済的負担の軽減に向けて引き続き取組を進めるよう要望しました。

また、妊娠・出産・子育てに関する相談については、全数面接などにおける丁寧な対応や子育て支援センターの相談機能の充実に取り組みとともに、窓口が開いていない時間でも、悩みを解決できるような様々な手段でホームページへ誘導するなどの取組を進めることを要望しました。

さらに、いじめを受けていることやヤングケアラーであることを周りに言い出せない子どもたちが助けを求めやすいような相談体制等の充実を図るとともに、子ども食堂を含めた子どもの居場所づくりへの支援を要望しました。

最後に、各部局で連携して、まちの子育てのビジョンを明確にしたまちづくりを進めるとともに、全庁的に最優先課題として捉え、必要な支援へつなげられるよう強く要望しました。

概要

一般質問

常任委員会の
主な審査内容

部活動の地域連携の あり方検討特別委員会



◎持続可能で多様なスポーツ・文化芸術等に親しむ環境の実現に向け取り組むことを要望
中学校部活動の地域移行における本市の現状や課題を整理し、他都市の取組、課題の解決に向けた諸方策についての調査を行いました。

主な結果として、現在部活動の指導を行っている教職員や地域の指導者に対して、地域連携・地域移行をどのように進めたらよいか、移行後も引き続き指導する意向があるかなどのアンケート調査を行い、実態を把握するよう要望しました。

次に、困窮世帯への支援について、家庭間の経済格差により機会の平等性が損なわれないよう慎重に検討し、具体的な支援を計画し、取り組むよう要望しました。

最後に、地域移行の受け皿となる団体については、会費や指導者への報酬の設定を行う際に市が関与し、方針を示すなど、全ての責任を運営主体に任せるのではなく市が責任を持つことも視野に入れ取り組むことを要望しました。

(参考)

部活動の地域移行とは

生徒数減少による活動内容の縮小化、部の存続の危機、教職員の業務負担増の改善に対応するため、学校で担っている部活動を、地域の文化・スポーツ団体が行う活動に移行していくための環境を整備する国主導の取組。

議決結果、
請願、人事等

特別委員会
からの報告

各委員会の構成等

議会の動き

長崎駅周辺交通対策 特別委員会



◎安全で快適な交通環境を確保するため長崎駅周辺の交通対策の推進に向け取り組むことを要望
長崎駅周辺やスタジアムシティ周辺の交通渋滞対策や長崎駅から浦上駅周辺の混雑緩和について検討しました。

主な結果として、長崎駅周辺の浦上川線から大黒町へ抜ける県道において商業施設に入る車が渋滞していることから、今後、道路標示の改善や左折車線を2車線に増加させるなどの改善を要望しました。

次に、スタジアムシティの東側を通る都市計画道路は、スタジアムでの試合開催時に渋滞することが想定されるため、対策を十分に検討し周知に取り組みよう要望しました。

さらに、スタジアム周辺には救急車を受け入れる病院が複数あり、渋滞時に救急車が円滑に通行することができるよう関係先と協議を進めるよう要望しました。

最後に、市内ではスタジアムシティなどの建設が予定されており、発生集中交通量を想定し、ソフト面だけでなく、車線幅幅などのハード面からも幅広く検討を行うよう要望しました。



▲長崎駅周辺の現地調査

各委員の構成が新たになりました

(五十音順、◎印は委員長、○印は副委員長)

概要

一般質問

常任委員会の
主な審査内容

議決結果、
請願、人事等

特別委員会
からの報告

各委員会の構成等

議会の動き

総務委員会 (財政、税、市民生活など)



◎木森俊也 ○阿部のぞみ



池田章子 五輪清隆 岩永敏博 梅本けいすけ



澤勢みずき 平 たけし 永尾春文 毎熊政直

教育厚生委員会 (教育、福祉、子育てなど)



◎福澤照充 ○浅田真五



相川和彦 中里泰則 中西敦信 野口達也



平野 剛 深堀義昭 向山宗子 山口まさよし

環境経済委員会 (環境、商工、観光、水産農林など)



◎梅元建治 ○山口たかゆき



梅原和喜 柿田 正 高橋佳子 武次良治



都留やすとし 久 八寸志 山谷よしひろ 吉原 孝

建設水道委員会 (都市計画、土木、上下水道など)



◎竹田雄亮 ○森きょうへい



井上重久 大石ふみき 筒井正興 中山 大



林 広文 山崎 猛 山下巖記 山本信幸

特別委員会

<防災対策>

- ◎ 梅原 和喜 ○ 澤勢みずき
- 井上 重久 梅本けいすけ
- 竹田 雄亮 中里 泰則
- 中西 敦信 久 八寸志
- 向山 宗子 森きょうへい
- 山崎 猛

<部活動のあり方検討>

- ◎ 柿田 正 ○ 阿部のぞみ
- 浅田 真五 池田 章子
- 大石ふみき 木森 俊也
- 高橋 佳子 筒井 正興
- 深堀 義昭 福澤 照充

<地域公共交通対策>

- ◎ 山本 信幸 ○ 中山 大
- 岩永 敏博 都留やすとし
- 永尾 春文 野口 達也
- 平野 剛 山口たかゆき
- 山口まさよし 山下 巖記

議会運営委員会

- ◎ 山谷よしひろ ○ 梅元 建治 五輪 清隆 平 たけし
- 武次 良治 林 広文 吉原 孝

次号：令和6年8月1日
発行予定

議会の動き

能登半島地震に係る義援金

このたびの能登半島地震の発生に伴い、長崎市議会として、2月20日に被災地へ30万円の義援金を送りました。地震によりお亡くなりになられました方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に対しまして、心からお見舞い申し上げます。
被災地の1日も早い復旧、復興をお祈りいたします。

耳が聞こえにくい方の傍聴の支援を行っています

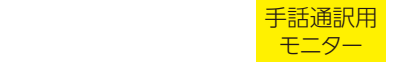
2月定例会から、聴覚に障害がある方をはじめ、多くの方が傍聴しやすいように、6階傍聴席の奥側に、リアルタイムに発言内容を表示することができる**字幕表示用モニター**を設置しました。(AIによる音声認識のため、誤変換や遅延・切断が発生する場合があります。)

また、各定例会の招集日や最終日の委員長報告の本会議の際には、**手話通訳を映し出すモニター**も設置し発言内容を表示しています。

さらに、会議の音声を鮮明に聴き取ることができるように**補聴援助機器**を貸し出していますので、利用を希望される場合は、傍聴の受付の際にお申し出ください。



字幕表示用モニター



手話通訳用モニター

長崎市議会の情報発信

○長崎市議会Facebook

議会では日頃どんなことが行われているのか？
事務局の目線でわかりやすくお伝えしています。

○長崎市議会ホームページ

本会議中継や議案書・各委員会資料の閲覧、会議録検索ができます。

教えて！バテイさん～3分でわかる議会の仕組み～では、議会についての？(ハテナ)を解説しています。

○長崎市公式LINE

お友だち登録後、受信設定から「お知らせ」をご登録ください。



長崎市議会事務局キャラクター「バテイさん」

6月定例会の予定 ※日程は変更となる場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
6/9	10	11	12	13	14	15
				本会議 (招集日)		
16	17	18	19	20	21	22
		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
23	24	25	26	27	28	29
	常任委員会	常任委員会	常任委員会	常任委員会	特別委員会	
30	7/1	2	3	4	5	6
	本会議 (委員長報告等)					